

2026年3月26日

各位

会社名 株式会社 SBI 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 川島 克哉  
(コード番号:8303 東証プライム市場)

## 地域金融機関との協調による北海道リース株式会社向けシンジケートローンの組成 ～第4のメガバンク構想における地域金融機関との連携～

株式会社 SBI 新生銀行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:川島 克哉、以下「当行」)は、2026年3月26日付で、北海道リース株式会社(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:松永 直己、以下「借入人」)向けに、ほくほくフィナンシャルグループの株式会社北海道銀行(本社:北海道札幌市、頭取:兼間 祐二、以下「北海道銀行」)と共同でシンジケートローンを組成しました。本件シンジケートローンには、地域金融機関12行が参加しています。

借入人は、1964年に北海道初のリース会社として設立された総合リース会社で、主に道内を営業エリアとしてリース・割賦事業を展開する、北海道銀行の持分法適用会社です。「北海道に根ざした企業として、お客様とともに社会の発展に貢献する」という経営理念のもと、4つの行動指針(信頼・創造・尊重・公正)を掲げ、地域密着型経営の推進を通じて地域経済の発展に取り組んでいます。

なお、北海道銀行と当行の共同アレンジによる借入人向けのシンジケートローン組成は、今回が初めての取り組みとなります。

当行は、SBIグループが進める第4のメガバンク構想における「広域地域プラットフォーム」の中核銀行として、日本全国の地域金融機関と連携を強化しております。北海道では新幹線の札幌延伸工事や脱炭素電源の開発、半導体産業の進出、札幌市内の再開発など、大きな投資ポテンシャルが見込まれています。本件は、地域金融機関とともに当該地域を金融面から支援することで、北海道経済の成長に資する取り組みです。

今後も当行は「広域地域プラットフォームとなり地域社会に貢献する」という方針のもと、地域金融機関との連携を強化することで、地域の経済、社会の発展に貢献してまいります。

### 【本件シンジケートローン概要】

借入人	北海道リース株式会社
アレンジャー	株式会社北海道銀行、株式会社 SBI 新生銀行
参加金融機関	旭川信用金庫、帯広信用金庫、北見信用金庫、釧路信用金庫、札幌中央信用組合、道南うみ街信用金庫、日高信用金庫、北央信用組合、北星信用金庫、北門信用金庫、北海道信用金庫、株式会社横浜銀行(五十音順)
組成金額	40.5億円
資金用途	長期運転資金

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&amp;コミュニケーション統括部

報道機関のみなさま [SBIShinsei\\_PR@sbishinseibank.co.jp](mailto:SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp)株主・投資家のみなさま [SBIShinsei\\_IR@sbishinseibank.co.jp](mailto:SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp)